



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 松久保 伸子

レベル4

校 長 松久保 伸子

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちが戻ってきました。まだまだ暑さが厳しい時期ではありますが、学習を再開いたします。家庭や地域で子どもたちが過ごしている間、教職員も普段なかなかとることができない休暇を取得して疲労した心身を回復させるとともに、長時間の研修を受けて子どもたちにフィードバックできるよう準備をしていました。再び子どもたちを育成する家庭・地域・学校のサークルの中に戻り、頑張ってまいりたいと思います。

さて今年の夏は熊本地震や千葉豪雨等大きな災害が日本列島を襲いました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。そしてもしこれが横浜であったらと考えずにはいられませんでした。実際に夏休み前最終日の7月17日にレベル4大雨危険警報が発令され、保護者引き取りおよび下校時刻の変更の措置を行いました。6月12日の雷雨による下校時刻変更、6月3日の台風接近による緊急臨時休校等、例年にないペースで緊急対応を行っています。間違いなく数年前と比べて気象状況が変わってきています。

本校では3階空き教室を防災備蓄室とし、市教育委員会から支給されている備蓄食品等を保管しています。しかし、保護者様が交通機関停止等によりなかなか引き取りに来られないケースもあるであろうと考え、学校独自の備蓄も始めました。毎年1年生と4年生の学年費を活用して、保存水と米粉クッキー1回分を購入していきます。ナッツアレルギーに対応しているクッキーも用意しています。(給食にナッツは出ませんが、学校にナッツアレルギーの連絡をまだしていないご家庭がありましたら、大至急連絡してください。) 学校独自の備蓄品は毎年増やしていきますので、今後の学年費による購入にご協力をお願いいたします。なおキッズ入口近くにある地域防災備蓄庫の食品等は北山田地域防災拠点運営委員会が管理するものです。学校で使用することは考えておりませんのでご理解ください。また、レベル4等新しい警報発信の仕組みができましたので、災害発生時の対応表を改訂いたしました。各ご家庭には印刷物(28日)も併せて発出いたします。今後も緊急対応があると考えておいた方がよいと思いますので、どうぞご家族皆様で確認してください。



8月28日には総合防災訓練を行います。暑さが予想されるため短めの訓練と座学を組み合わせますが、103年前に発生した関東大震災の様子を伝え、学校での避難の仕方を実行して復習し、自分の家の防災備蓄品について関心をもつ学習としていきます。本校はこのまちの地域防災拠点であり地域の皆様が避難所を設営しますが、基本は在宅避難です。子どもたちが学習するこの機会に、ぜひご家庭の備蓄品について子どもたちと一緒に点検してみたいと思います。